

総合防犯設備士試験 科目Ⅱ

科目Ⅱ 解答例



各文章の空欄に当てはまる用語を埋めよ。

1. ジェームズ・ウィルソンとジョージ・ケリングが提唱した理論として、割れ窓理論というものがある。それによると治安が悪化するまでにたどる過程としては下記の通りとなる。
 - i. 一見軽微な秩序違反行為を野放しすると、それが誰も(①)に関心を払っていないというサインになり、犯罪を起こされやすい環境を作り出す。
 - ii. (②)が起きようになる。
 - iii. 住民が(①)に協力しなくなり、一層の環境悪化をもたらす。
 - iv. (③)を含めた犯罪が多発するようになる。

2. 警察の統計では、刑法犯と特別法犯に分けている。さらに、刑法犯は凶悪犯、粗暴犯、(④)、知能犯、風俗犯及びその他の刑法犯の6種類に分類している。また、(④)は、さらに(⑤)、(⑥)、(⑦)の三つに分類されている。

3. 個人情報保護法によると、「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であつて当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの、及び(⑧)が含まれるものとしている。ここでいう(⑧)とは、同法の施行令において顔、光彩、指紋、掌紋などの生体情報が含まれる。

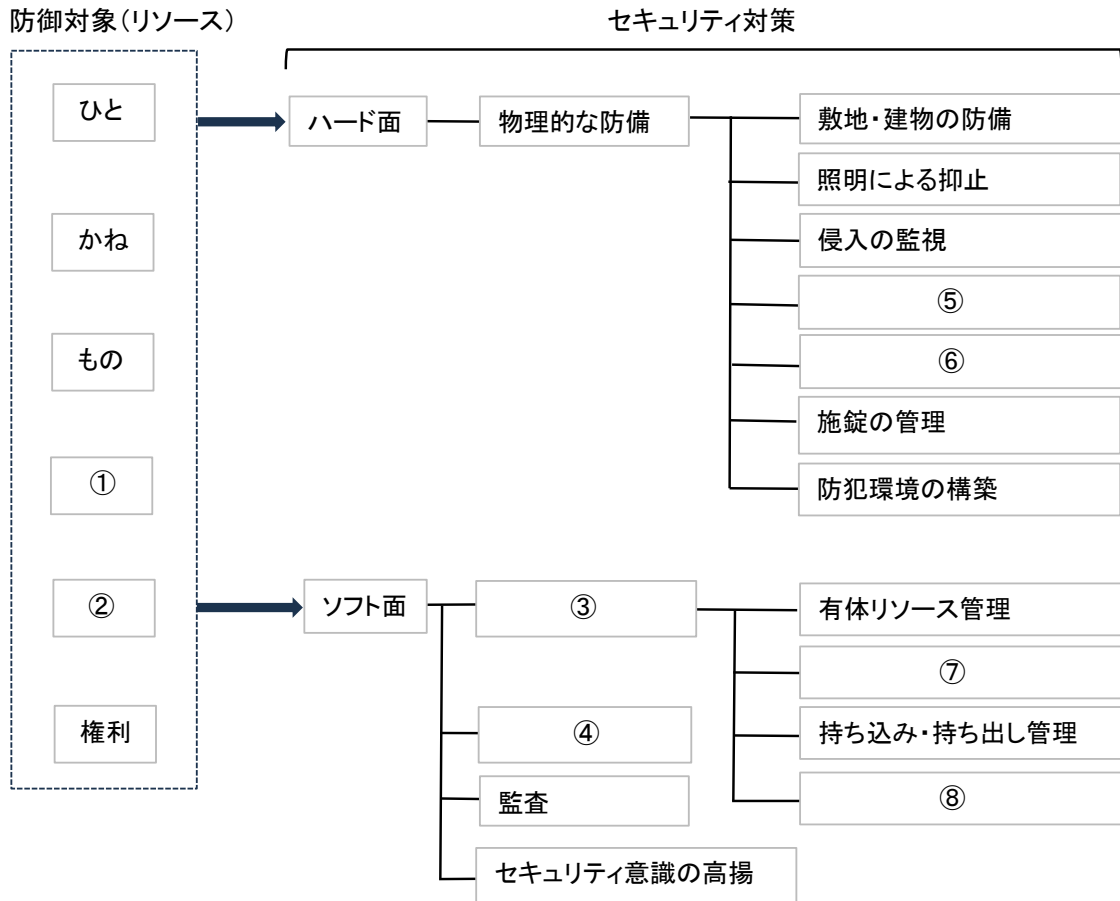
4. 情報漏えい対策は、「個人情報保護法」の遵守、(⑨)の認証、(⑩)取得、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)などの構築において、避けては通れない。

【解答欄】

①	秩序維持
②	軽犯罪
③	凶悪犯罪
④	窃盗犯
⑤	侵入盗
⑥	乗り物盗
⑦	非侵入盗
⑧	個人識別符号
⑨	ISO 27001 (または、情報セキュリティマネジメントシステム)
⑩	P マーク (または、プライバシーマーク認定制度)

セキュリティを考える上でリスクとは、将来、いずれかの時に起こる生活や安全な組織活動の継続を阻害するなどの不確定な事象の可能性とその影響をいう。

そのリスクのひとつである犯罪行為のうち、窃盗などの脅威から生活や組織活動を安全に継続するための資源であり財産であるリソースを守る対策、すなわちセキュリティ対策を、ハード面及びソフト面から図示したのが下図である。空欄に適切な用語を記せ。



【解答欄】

①	情報	⑤	映像による監視
②	信用	⑥	出入の管理
③	管理体制の構築	⑦	無体リソース管理
④	非常対策	⑧	運用・維持管理

犯罪機会論の中には各種の考え方がある。その内の状況的犯罪防止理論と小宮信夫教授による犯罪抑止の3要素をまとめたのが下表である。()内に入る適切な語句を解答欄に記せ。

状況的犯罪防止理論

犯罪予防の目的	(①)を減少させることにある
犯罪予防の対象	具体的な特定の犯罪形態である
犯罪予防の方法	犯罪者の更生や環境の一般的な改善ではなく、犯罪発生の可能性がある環境に直接働きかけ、管理、設計および操作するものである
犯罪予防の重点	犯罪の際の(②)を増大させ、犯罪から得ることのできる利益を減少させることにある

犯罪抑止の3要素

犯行場面	犯罪抑止要素	物理的な要素(ハード面)	物理的な要素(ソフト面)
標 的	(③)	恒常性	管理意識
標的周辺	領域性	区画性	(④)
	監視性	(⑤)	当事者意識

【解答欄】

①	犯罪機会
②	労力とリスク
③	抵抗性
④	縄張り意識
⑤	視認性

セキュリティポリシーとは、セキュリティに関する組織の基本方針をいう。これは、組織活動の安全な継続を維持するため、どのように取り組み、どのように行動するかについて、トップの意思を方針として文書化して表明するものである。

セキュリティポリシー策定の目的は、組織のリソースをリスクや脅威から守ることである。

セキュリティポリシーの導入や運用についての利点とセキュリティポリシーに記載される内容の具体的な取り組み内容について、空欄をすべて埋めよ。

1. セキュリティポリシーの導入や運用についての利点

①	教育・訓練などを通じて関係者のセキュリティ意識(セキュリティアウェアネス)の高揚を図る
②	組織の資産を統一的に取り扱う
③	セキュリティ活動の責任の所在を明確にする
④	顧客を含む取引相手や一般社会から社会的な認知を継続的に取得する
他の例	被害に遭遇した場合、その立証を容易にする
	保険に優位に加入する

2. セキュリティポリシーに記載される内容の具体的な取り組み内容

①	リスクのランク付けと対象リスクの明確化
②	リスクに対する姿勢と対処方針
③	ランク毎の対策
④	事件・事故に対する姿勢

⑤	損失補填・復旧に対する考え方
⑥	社会的責任(CSR)の遂行体制と責任の所在の明確化
他の例	監視・監査の活用の姿勢
	セキュリティ意識(セキュリティウェアネス)の高揚に対する考え方
	セキュリティ組織の構築
	資産の分類と統制
	事業継続管理(BCM)
	コンプライアンスの徹底